



子どもと若者が 暴力を受けずに 暮らす権利

プラン・インターナショナル ポジションペーパー

2018年9月

子どもと若者が暴力を受けずに暮らす権利

プラン・インターナショナル ポジションペーパー

すべての子どもと若者には、あらゆる形態の暴力を受けずに暮らし、安全かつ平和的で、すべての権利を実現できる環境で育てられる権利が保障されなければならない。

【子どもに対する暴力】

- プラン・インターナショナルは子どもに対するあらゆる形態の暴力を強く非難する。私たちは国際的にも子どもに対する暴力は絶対的に受け入れられないと考えている。およそ4分の3の子どもたちが過去に暴力を受けたことがあり、暴力の常態化が問題視されている。国際人権法のもとでは、すべての子どもと若者は暴力の不安や恐怖を感じることなく暮らす権利を持っている。プラン・インターナショナルは子どもに対する暴力の重大さ、罪の重さを認識し、子どもの人権が守られていない状況を早急に改善することを優先事項とするようすべての人々に要請する。
 - 子どもに対する暴力を撲滅すること、特に女の子に対する暴力を撲滅することは容易でないが、実現可能な目標であり、法律上の権利であり、そして開発支援の責務である。子どもに対する暴力を撲滅するためには、国際、国、そしてコミュニティレベルの財政や政策、そしてパートナーシップの強化が必要である。
 - 子どもに対する暴力は見えにくく、さまざまな要因を含んでいるため、報告件数が現状より過少ない。プラン・インターナショナルはすべての関係者に、暴力防止と支援の仕組みに被害者のニーズが優先されるよう要請する。暴力の通報の仕組みは、子どもに分かりやすく、ジェンダーと年齢に配慮すべきである。また、暴力のサインにいち早く気づき、子どもたちのニーズを最優先する支援の仕組みである必要がある。
- 子どもたちは、それぞれの成長段階でさまざまな形態の暴力を受けており、とりわけ女の子が暴力に直面していること、そして女の子と男の子は異なる形態の暴力を経験している。子どもに対する暴力への対応は、すべての子どもたちの暴力の経験が理解され、適切に対処され、最終的には防止されるために、包摂的で、ジェンダー・トランスフォーマティブ*であり、年齢を配慮しなければならない。

*ジェンダー・トランスフォーマティブとは：単に女性・女の子の現状を改善するだけでなく、社会における女性の地位を改善し、彼女たちが権利を十分行使できるように目指すこと

【女の子と暴力】

- 暴力にはさまざまな形態があり、そのなかでも、ジェンダーに基づく暴力、性暴力、そして女の子に対する暴力に違いがあることを理解する必要がある。これらの暴力は重なり合っていて、女の子はジェンダーの役割がより明確になる思春期に暴力を受ける危険性が高まる。
- 子どもの権利を促進する組織として、プラン・インターナショナルはすべての子どもの権利を守ることに力を入れており、男の子が受けている暴力は決して無視されてはいけなと考える。しかし、女の子と若い女性が男の子や若い男性より、子ども時代や思春期、そして若い時期に暴力の被害に遭い、その多くが見えづらく、当たり前になっている。暴力被害のリスクがある女の子や、暴力のサバイバーに対する法的保護を強化する必要があり、女の子のセクシュアリティをコントロールするような暴力につながるジェンダーの規範を変えていかなければならない。
- これらの理由から、プラン・インターナショナルは、ジェンダーに基づく暴力と女の子に対する暴力を撲滅させることを優先し、この目標達成のためにリソースをあてていく。プラン・インターナショナルは、女の子に対する暴力防止への支援と国際的な理解を得るために、すべての関係者にアクションを取るよう働きかけを行って行き、女の子の権利を侵害する暴力を撲滅するため

に必要な政治的意志と資金を増やすよう呼びかける。

- 暴力は加害者のみの責任であり、国内法、または国際法によって裁きを受けべきであり、被害にあった女の子が責められるべきではない。暴力に対する不安や恐怖心により、女の子の自由や将来への可能性が制限されてはならない。

【国際的な人権の枠組みと仕組み】

- 政府は子どもに対する暴力やジェンダーに基づく暴力に関するすべての条約や協定を批准し、確実に実施すべきである。このためには、条約の一般的意見や勧告といった文書に示された行動ポイントが明文化されている必要がある。また、条約を批准し実施するために、政府はすべての国内法、地方の法律や政策を整合させることが求められている。
- プラン・インターナショナルの独自の調査によると、国際的な条約は女の子を暴力から十分に守っていないと言える。これは、条約にジェンダーの視点がないこと、そして条約そのものに法的な適応範囲を制限する留保という選択肢があることが原因である。プラン・インターナショナルは、伝統的な文化、宗教的観念、社会規範が人権を侵害してはならないと考える。しかし、国家は子どもに対する暴力やジェンダーに基づく暴力に関連する条約や協定を留保するために、伝統的文化、宗教的観念、社

会的規範を利用すべきではない。政府はほかの関係者と一緒に、女の子に対する暴力を容認する国際法に対応しなければならない。

- 年齢、性別、民族、宗教、障がいの有無、土地、富、結婚暦、性的指向、性自認、そして難民・移民であること（プライバシーと人権が当然守られる形で）といった細分化されたデータを集めることが重要である。思春期前期の女の子のニーズを明らかにするため、また女の子や若い女性に対するコミットメント、政策、取り組みの進捗を測るために、データには10歳から14歳の女の子が含まれるべきである。
- プラン・インターナショナルは、女の子や若い女性に対する差別を生んでいるような、現在の法律、規制、慣習や習慣に対して、国が立法も含めた適切な措置を講じられるように、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（CEDAW）」を広めていく。
- プラン・インターナショナルは、基本的な人権を侵害しようとする人々や暴力から、子どもを守ることに反対する人々を強く非難する。すべての政府が現在の人権規約を尊重すること、人権に関する問題の交渉の出発点としてこれらの規約を使うこと、そしてこうした基本的な姿勢に反対する人々と闘うことを求める。
- プラン・インターナショナルは、すべて

の政府に子どもが暴力を受けずに暮らす権利のための政府による取り組みに透明性と説明責任を求める。すべての女の子、男の子、女性、男性は、子どもに対する暴力に関する国の法律、政策、それらに対応した予算や実施計画に関する情報にアクセスできるべきである。

- 市民社会、国際的な組織、キャンペーンを行う人や活動家は、子どもに対する暴力を撲滅させるために重要な役割を果たしている。この役割には、政府の説明責任を確かなものにする、データを集めること、政治的意志を刺激すること、プレッシャーを与えること、そして子どもに対する暴力を撲滅するための十分な資金の確保が含まれる。
- ジェンダーの力関係は子ども、特に女の子に対する暴力の原因であることから、この力関係に取り組む必要があること子どもを守ることに従事している国際的な関係者に重要性を訴え、女の子に対するさまざまな形態の暴力に取り組む努力をすることを求める。プラン・インターナショナルは、透明性、説明責任、相互の学びの担保、そして確固たる成果のために、関係者と連携して責任をもって活動する。

【暴力のリスクが高い子どもと若者】

- プラン・インターナショナルは、子どもに対する暴力を撲滅する手段は包括的であるべきだと考える。また、すべての子どもたちを暴力から確実に守るような仕組みがなければならない。特定のグループの子どもたちは、より暴力に

遭いやすく、それは一般的に、女の子、障がいのある子ども、法的な身分証明を持たない子ども、現状に対して声をあげる子ども、少数民族の子どもの、最貧困層や危機状況下にある子ども、またレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックス、クエスチョニングと自身を認識している子どもである。乳幼児期と思春期はどちらも暴力に対し脆弱な時期である。プラン・インターナショナルは、誰も取り残さないよう、関心を集め、必要な資源を増やし、セーフガーディング*を強化するために、もっとも脆弱で排除されやすい人々を優先して支援する。

- *セーフガーディングとは：ジェンダーに対応した、子どもと若者、とくに私たちが一緒に活動したり交流したりする子どもと若者が安心・安全に過ごせる環境づくり

【国の子どもの保護システム】

- プラン・インターナショナルは、市民の権利を守ることは、政府の責任であると考えている。しかし、包括的な子どもの保護システムなしには、すべての子どもの安全を保障することはできない。そのため政府は、効率的で、年齢を配慮した、ジェンダー・トランスフォーマティブな子どもの保護システムを導入すべきであり、市民社会、国際機関、企業などその他の関係者は、国の子どもの保護システムを支援するべきである。保護システムは、十分な予算の確保と、もっとも脆弱な立場の人々のニーズに応える必要がある。

【社会規範と暴力】

- プラン・インターナショナルは、暴力を容認する態度こそが早急に取り組む課題であると考えている。子ども、思春期の子ども、そして若者、特に女の子と若い女性に対する暴力、非難、さげすみ、被害者への汚名によって暴力を正当化するようなジェンダー不平等や社会規範の改善に取り組むことは極めて重要である。伝統的、文化的または宗教的背景は、こうした規範を正当化するために使われるべきではない。暴力はいかなる状況でも受け入れられないものであり、いかなるときも人権侵害として捉えられるべきである。暴力は個人的な問題ではなく、解決にむけて摘発していかなくてはならない。
- 以下の規範と価値を促進し、強化すべきである。それは暴力を否定し、人権を尊重し、子どもを健やかに育み、前向きであり、もっとも困難を抱える人々も取り残さない、子どもと思春期の子どもと若者のためのジェンダー平等な規範や価値である。
- 態度、規範、行動を変えるためには、子どもに対する暴力に関する世代間の対話を促進していくことが重要である。コミュニティでの対話はしつけに関する誤った慣習を変えることができる。また、対話は、子どもたちは大人の所有物ではなく、権利を持っている者としての見方を与えることができる。対話には子ども、思春期の子ども、若者、親、保護者、伝統的／宗教的リーダー、医療

従事者、教員が含まれるべきであり、すべての人がアクセスできるべきである。

- ▶ プラン・インターナショナルは、ジェンダー不平等を助長し、社会的なジェンダー規範を通して女の子と女性の人生とセクシュアリティを支配する家父長制度に反対する。この制度は女の子と女性に低い地位を与え、女の子と女性に対する暴力を正当化するものである。女の子と女性は身体的に自立し、自身のセクシュアリティを決める権利を持っている。ジェンダーに基づく暴力を撲滅するために、家父長制度を変えるべきである。
- ▶ 前向きな行動変化を起こすために、プラン・インターナショナルは、女の子と女性だけでなく、男の子と男性も巻き込む必要があると考える。関係者、権利者として、そして変化を起こす存在としての男の子と男性の巻き込みは、支配的な男らしさの規範を変えるためには欠かせない。また、平等で安心でき、尊重と責任をとらない、暴力のない人間関係を育むためにも男の子と男性と一緒に課題に取り組むことが重要である。

【家族間または家庭での暴力】

- ▶ 子どもがケアされ、健全に生まれ、サポートを受けるために、家庭はもっとも重要な場所である。母親、父親、法的な保護者を愛することを通して、子どもたちは安心できる絆のなかで育ち、親や保護者をロールモデルとしながら、

思春期そして大人へと成長することができる。すべての子ども、思春期の子ども、若者は、ネグレクト、心理的／身体的暴力、性暴力を含む、家庭内での暴力、またほかの者からの暴力の被害者になってはいけない。

- ▶ プラン・インターナショナルは、親密なパートナーからの暴力を強く非難する。また、パートナーからの暴力は、女の子と女性により多くの被害をもたらしていると認識している。近親相姦、性暴力、レイプの被害者を保護する手段は、安全な住まい、保健サービス（緊急の避妊を含む）、心のケア、安全な中絶へのアクセス、そして法的処置や賠償を求める手段を保障する効果的なメカニズムであるべきだ。被害者支援は、女の子への差別的な態度を助長させないように留意して、女の子に対する暴力に対応する必要がある。
- ▶ プラン・インターナショナルは、児童婚、早すぎる結婚、強制婚（以下、CEFM）の実施を強く非難する。CEFMは女の子に対する暴力である。私たちは国または慣習的な法律によって、早すぎる結婚や強制婚が禁止されること、またこれらの法律が確実に施行されることを求める。プラン・インターナショナルは、子どもの権利条約の第4条にのっとり、親や司法の同意にかかわらず結婚できる最低年齢を男性も女性も等しく18歳にすべきであると考えます。
- ▶ 私たちは家庭内での暴力的なしつけを

非難する。体罰はしつけとして受け入れられてはいけない。暴力に頼らない子育ての支援は、厳しすぎる子育てを改めさせ、子どもと親のよい関係を築くための情報やアドバイスを含めるべきである。

【学校内外での暴力】

- プラン・インターナショナルは、すべての子どもは安全で安心でき、暴力の不安や恐怖心のない環境で学ぶ権利を持つと強く主張する。この学習環境は質の高い教育の不可欠な要素である。しかし、多くの子どもたち、特に女の子たちにとっては、学校が恐くて不安な場所になっている。暴力を容認したり、合法としたりする態度や行動を改善するために、国家、地域、学校、そしてコミュニティレベルで取り組むことは、学校におけるジェンダーに基づく暴力の防止と対応にとって重要な取り組みである。
- どの子どもも学校内、また学校に行くまでの道のりでの暴力の被害者になってはいけない。この暴力は性暴力、嫌がらせ、いじめ、脅迫、体罰を含んでいる。障がいのある子ども、少数民族の子ども、LGBTIQだと認識している子どものように、特に脆弱で排除されやすい立場の子どもは、周りの仲間や親による学校内外での暴力を受けやすい。この暴力は、その子どもをケアする立場の人、あるいはその子どもに対して権威を持っている人、子どもの学校生活の継続に大きな影響を与える人によって

行われる場合、深刻な人権侵害となりうる。このような暴力をなくすことはすべての関係者の優先事項であるべきだ。

- 人道支援における質の高い教育は、特に女の子と若い女性に対して保護的な機能がある。質の高い教育は、包摂的で人をエンパワーするものであり、すべての人の尊厳と価値を尊重することを促進するものである。加えて、ライフスキルや包括的性教育を含む、幅広い範囲の学びを提供するべきであると考えられる。質の高い教育によって、子どもと若者に対して必要不可欠な技術と知識、積極的で生産的な人生を生きる態度や行動、そして平和と非暴力をすすめる積極的な市民としての責任を伝えるべきである。
- すべての子ども、思春期の子ども、若者が差別されることなく、包括的性教育を受けられるべきである。包括的性教育は、人間関係とセクシュアリティについての健康的で尊重された選択をするための考える知識、価値、態度、必要な同意をとる能力を育む。保護者と教員は、子どもが乳幼児のときから、子どもたちが生涯にわたる健康を促進し、抑圧や暴力、差別なく、子どもが自身の体のことや人間関係、セクシュアリティについて学ぶための支援をすべきである。

【コミュニティや公共の場における暴力】

- コミュニティが子どもたち、思春期の

子ども、若者にとって安全で成長に対する不安がない環境であることが重要である。すべての子ども、思春期の子ども、若者は路上や公共の場、公共交通、または学校への道のりでも、暴力、嫌がらせ、虐待にあってはならない。不安や恐怖は思春期の子どもや若者の自由で充実した人生への可能性を制限するものである。コミュニティは、暴力を容認しない安全かつ安心できる環境をつくりあげ、暴力の防止と対応に取り組む責任を担っている。

- プラン・インターナショナルは、政府や地方行政の都市計画がジェンダー平等を目指すために、法律や政策、ガイドラインをジェンダーの視点から見直すことを求める。女の子はコミュニティのなかで暴力によって、より大きな影響を受けている。暴力への対応はジェンダーや年齢を考慮すべきだ。国家、地方レベルにおいて暴力への対策が取られるよう、十分な予算が確保されるべきである。
- プラン・インターナショナルは、女性性器切除 (FGM/C) を含むすべての有害な慣習を強く非難する。私たちは、FGM/C はコミュニティの制裁という形の女の子に対する暴力のひとつで、人権侵害として扱われるべきであると考えている。FGM/C は、女性のセクシュアリティをコントロールする欲望と関係している。プラン・インターナショナルは、すべての女の子と女性は、彼女の体に関する決定を自由に行うために必要な知識や

自主性を持つべきであると考えている。

- プラン・インターナショナルは、FGM/C に対する効果的な立法と FGM/C によって心身に起こる長期的な影響について、コミュニティを意識啓発することによって、FGM/C と闘う。この有害な慣習に関する態度や規範を変えるために、家族、コミュニティ、伝統的／宗教的リーダーを巻き込むことは極めて重要である。

【商業的搾取と暴力】

- すべての子どもが搾取的に働かされるべきではない。私たちは適度な仕事であれば子どもにとって価値があり、教育として役立つと考える。しかし、子どもたちを搾取するような仕事であるならば、すぐに止めさせるよう強く求める。なぜなら、搾取は子どもたちの身体的、精神的、また性的に害をもたらし、教育を受ける権利を損なわせ、その他の危険へのリスクを高めるからである。
- プラン・インターナショナルは、女の子により大きな影響を与える子どもの商業的性的搾取を強く非難する。これは子どもたちを精神的／心理的／身体的健康、そして性と生殖に関する健康を危険にさらしながら、重大な危険に陥れるものであり、子どもたちの人権を侵害するものである。私たちは、政府が法整備とこのような形態の暴力を防止し、保護するための強固な枠組みを作るよう求める。商業的性的搾取における子どもの被害者は、国際人権法に基

づき支援、賠償、治療を受ける権利が行
使できるべきである。

- プラン・インターナショナルは、性産業
に従事している若い女性と男性が受け
る暴力に大きな警戒を抱いている。法
的な保護システムを強化するために、
また保護システムや司法システムを利用
できることを保障するために、政策
の評価を行うよう政府に求める。
- 子どもの社会的保護システムは路上で
働きながら生活している子どもたちを
見落としている。このような子どもた
ちの食べ物、住まい、保護システム、そ
して保健サービスへアクセスする権利
は侵されている。早急に、このような子
どもたちはケアと保護サービスにアク
セスできるようにしなくてはならない。
- 子どもたち、特に女の子が人身取引の
被害者になっている。私たちはこの現
状を強く非難し、すべての関係者に人
身取引が最優先の課題であることを訴
えている。国境を越えた人身取引は国
際的な協力は無くすことができ
ない。

【危機状況下における暴力】

- 国際法のもとにおいて、すべての子ど
もたちが差別されないようにすること
に、政府が責任を持つべきである。子ど
もの権利条約に基づいて、亡命した子
どもや難民認定された子どもであって
も、暴力、虐待、搾取、ネグレクトから
守られる権利を持っている。難民の地

位に関する条約に則して、すべての子
どもは難民が持っているすべての援助
と保護を受ける権利を、大人と同等に
持っている。

- 危機状況下において、特に強制退去を
迫られているとき、子どもたちは暴力、
虐待、搾取、ネグレクトを受けるリス
クが高いといえる。保護者や家族と離れ
離れになっている子ども、つまり親、家
族、保護者による直接の保護が受けら
れない子どもは、より暴力を受けるリ
スクが高まる。
- 子どもの権利条約と国際人権法のもと、
プラン・インターナショナルは、家族と
離れ離れになっている子どもには家族、
親戚や保護者のもとに帰る権利がある
と考える。政府は子どもが家族と再会
するために、すべての実践的な手段を
つくすべきである。
- プラン・インターナショナルは、ジェン
ダーと性別によって人道支援の現場に
おける子どもたちが持つ暴力を受ける
リスクは大きく異なると認識している。
危機状況下において、子どもの保護対
応は思春期の女の子を見落とすことが
多い。思春期の女の子たちはジェンダ
ーと年齢が原因となって、特定のリス
クに直面している。これらの特定のリス
クとは、性暴力、ジェンダーに基づく
暴力、そして子どもの結婚、強制婚、早
すぎる妊娠といった有害な慣習である。
子どもの保護、性暴力やジェンダーに
基づく暴力の予防と対応は、それぞれ

ジェンダーと年齢に配慮したものでなくてはならない。

- 危機状況下において移動する子どもたちへの保護の強化は受入国政府と支援機関によって、優先的に投資されるべきである。この投資にはこうした子どもたちのニーズを達成するために、政府やコミュニティによる子どもの保護システムへのより効果的な資源配分が含まれる。
- 人道支援における暴力の予防と子どもの保護に関する課題の根本的な原因への取り組みに注意が払われるべきである。この取り組みは教育や社会的保護のアクセスを増やすこと、つまり家族の収入機会を拡大すること、対立を解決するためのコミュニティでの対話への参加を増やすことを含む。

【オンライン上での暴力】

- 情報とコミュニケーション技術の進化は子どもたちに新しい前向きな機会を与える。しかし、オンライン上では、子どもたちに対する虐待、嫌がらせ、暴力といった人権侵害が起きている。こうしたオンライン上での暴力は喫緊の優先事項として対応されるべきである。インターネットが子どもに与える、複合的な危険性を決して軽く見てはいけない。そして世界中の関係者は子どもたちのオンライン上における子どもの安全と保護に努めるべきである。
- プラン・インターナショナルは、オンラ

イン上で女の子と女性があげた声を黙らせようとする悪習を非難する。私たちはすべての関係者に、オンライン上での暴力が女の子と女性の表現の自由を抑圧することに繋がらないように責任を持つよう求める。女の子たちをデジタルの世界から追い出してはいけない。この課題への対策として、安全なオンラインスペースを作ること、オンライン上の暴力を報告する仕組みを強化すること、暴力、嫌がらせ、虐待を行った者を処罰することに集中しなくてはならない。

- デジタルメディアが有害なジェンダーの固定概念、つまり女の子と女性が性的対象とされることや、非現実的な女性の表現などを助長しないようにしなければならない。メディアにおける多様な女性や女の子、男性や男の子の表現は、ジェンダーの認識に関する社会規範により影響を与える。極端な悪影響を与えるポルノ、特に暴力的なポルノ、そして子どもがそうしたポルノに簡単にアクセスできてしまうことは国際的に重大な課題であると認識されるべきである。この課題への対策は、子どもたちをオンライン上の有害なコンテンツへのアクセスから守るようにすることである。
- 性的虐待や搾取などのためにインターネットを利用することは許されざる犯罪である。子どもへの性的虐待や性的搾取はオンライン上であっても罪が軽いものではなく、これらの実例は増え

ている。政府やその他の関係者は、加害者の調査や起訴によって、オンライン上の子どもの性的虐待、性的搾取をすぐさま解決しなくてはならない。